

流行性耳下腺炎

2016年1週の県全体の定点当たり報告数は、2015年53週の0.57から増加し1.77となった。過去4年の同時期と比較し多く、4～5年間隔で大きい流行を繰り返すことが報告されており、今後の流行状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中12保健所管内で増加し、海匝(10.75)、印旛(4.67)、山武(4.60)、市原(2.29)、香取(2.00)が多い。

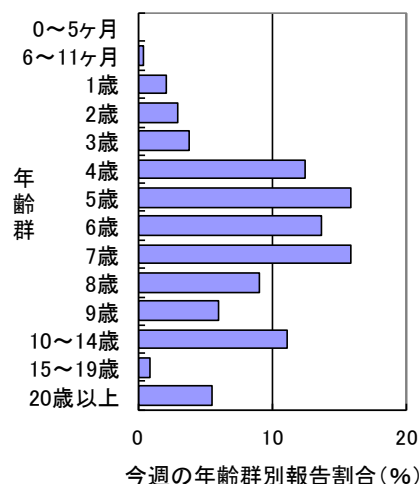
2016年1週に報告された233例の性別は、男性117例(50.2%)、女性116例(49.8%)で、年齢群別では、4～7歳が135例で57.9%を占めていた。

参考

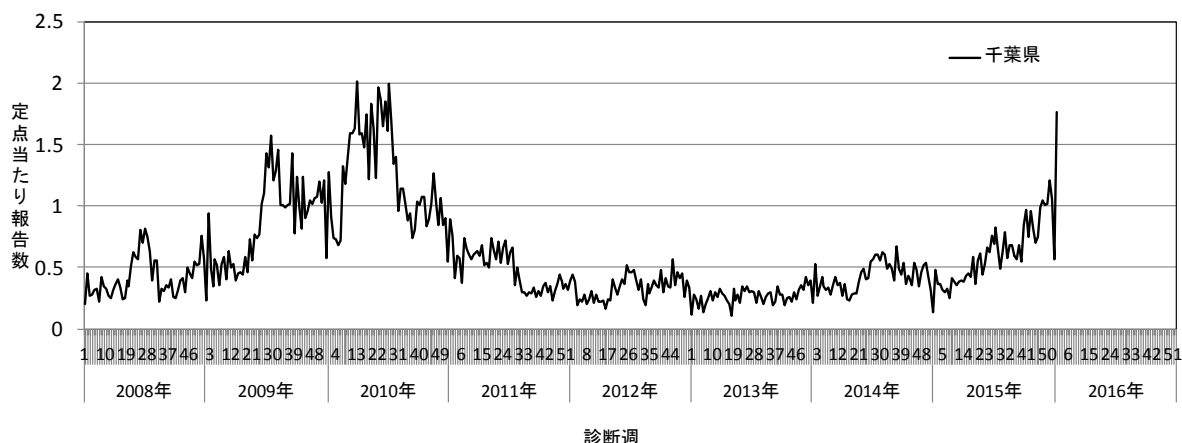
- 1) 国立感染症研究所 病原微生物情報 (IASR) Vol. 34 No. 8 (No. 402)

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol34/3968-iasr-402.html>

流行性耳下腺炎



2008年～2016年1週千葉県の流行性耳下腺炎定点当たり報告数



流行性耳下腺炎

